

# ふくサポ通信



にゃんこ隊長が行く！

## 認定NPO法人 シーエスアールスクエア

～学校が生き生きとするためのお手伝い～

今年9月に設立10年目を迎える認定NPO法人シーエスアールスクエア（福島市）、理事長の宍戸仙助さんは、東日本大震災でベトナムやラオスの子どもたちから受けた恩に報いるため、全国での講演活動に力を注いでいます。

2008年、矢祭町の小学校校長だった宍戸さんはラオス山岳地帯の学校を訪れた際、子供たちが生きるために水場と家を何度も往復する姿を目の当たりにします。さらには、生活の糧を得るために土の中に埋まる不発弾の金属類を集める姿に衝撃を受け、厳しい環境にある山岳部の学校を支援しようと退職後にこの団体を立ち上げました。

これまでにベトナムとラオスに建設寄贈した幼稚園や小中学校は5校、幼稚園の遊具や小学校トイレ建設の支援等は現在も続けています。その原資のほとんどは、640回を超える講演会を聞いて賛同して



笑顔あふれる子どもたち（運動会にて）



理事長 宍戸仙助 氏

くださった全国の個人や企業からの寄付だそうです。忘れられないのは、東日本大震災で被災した本県のためにとベトナムの山奥の貧しい地域の子どもたちが、朝ごはんやおやつを我慢して寄せてくれた寄付でした。「私たちは、決して忘れることができません」と宍戸さんは語ります。

そしてもう一つ、山岳地帯を訪問するたびに考えさせられてきたことが、どんなに生活に恵まれずとも輝き続ける子供たちの瞳の美しさでした。その答えは、子供たちが「自分は家族の一員として役に立っている」という「自己有用感」だと改めて気づいたそうです。今、日本で起こっている人間関係の希薄化や他人を傷つける現象の解決策の一つがここにあると講演では訴え続けています。

今後について、「山岳地帯が安全で恵まれた環境になるには、あと100年かかるかもしれません」と宍戸さん。「私が初めて訪れたラオスの山の学校は、道なき道でした。道はあるものではないのです。自分たちで切り拓いて進むものなのです」と、今日も子供たちの明るい未来のために語り続けます。

<お問い合わせ>

認定NPO法人 シーエスアールスクエア  
E-mail : info@csr2.or.jp



# 協働のチカラ

## なのはなの家×福島钣金工業(株)×森合櫛台町会

「なのはなの家」は、福島市森合にある就労継続支援B型事業所です。ろう重複障がいのある子どもたちが、卒業後に地域の方々と共生できる作業所をつくるという目的で2013年に開所しました。一方、福島钣金工業(株)は、同じ森合地域に立地し、福島県立美術館・図書館周辺の清掃美化活動を約20年間、従業員が率先垂範で実施している企業です。この両者共通のキーワードは、共に「地域で認められる存在になる」ということでした。

そこで昨年秋、福島钣金工業(株)の清掃活動に「なのはなの家」が一緒に参加するという取組が行われました。

森合地域では、各町会が協力して実施する「ふくしまきれいにし隊(ポイ捨てのない美しいまちづくり推進事業アダプトプログラム)」を利用した清掃活動が地域一体で実施されていますが、森合櫛台町会は県立美術館・図書館の正面通りに位置することから、住民の方々が常に主体的に清掃活動を実施しておられます。森合櫛台町会長の小原貞夫さん、副会長の小濱哲夫さんは、「ほぼ毎日、町内のどこかのお宅が清掃してくれています。11月は、このメイン通りを中心に各種イベントも実施されますが、訪れる方々に気持ちよく参加してもらい、この地域の魅力に気づいてもらうことが私たちの大きな喜びの一つです」と語られます。

こうした森合地域の中にあって、「お互いの顔と名前がわかればもっといい」という意見を受け、昨年12月、「なのはなの家×福島钣金工業(株)×森合櫛台町会」の『三者交流顔合せ会』が行われました。

「なのはなの家」の佐野所長は、「三者連携を一過性の取組で終わらず、地域に根付く協働の仕組みへと発展させていきたいです」と話されました。

美化清掃活動・交流会からはじまった互いの顔の見える取組が、今後の新たな協働活動を生み出し、地域共生の実現につながってっていくことを期待しています。



福島钣金工業(株)清掃美化活動  
「なのはなの家」の参加  
(令和7年9月16日)



森合櫛台町会の皆さん  
「ふくしまきれいにし隊」活動  
(令和7年11月23日)



三者交流顔合せ会  
(令和7年12月10日)

### お知らせ(再)

ふくサポメールアドレスの変更はお済みでしょうか。旧アドレスへの送付が見受けられますので、今一度ご確認をお願いします。

新メールアドレス:[info@f-fukusapo.com](mailto:info@f-fukusapo.com)  
旧アドレス:[f-ssc@bz01.plala.or.jp](mailto:f-ssc@bz01.plala.or.jp)

# 令和8年度講座案内

## ▶福島駅前を改革せよ！ 募集中

新規学生広報メンバー大募集！昨年度、企画発表会で大成功をおさめたメンバーと一緒に本格的にまちづくりに参加しませんか？仲間と一緒に福島を盛り上げましょう。

初回開催日時：7月6日（月）18：00～

お申込み→



## ▶意外と知らない！？NPOのための労務講座 募集開始前

労務に関する知識、アップデートされていますか？労務管理のポイントを改めて確認し、書類をきちんと管理しましょう。労務に関する日頃の疑問にもお答えします。

日時：7月30日（木）13：30～15：00

講師：宍戸宏行氏（宍戸労務管理事務所所長）

定員：20名 参加費：無料

## ▶スマホで！写真の撮り方講座～応用編～ 募集開始前

昨年大好評いただいた同講座。皆さんからのご要望にお応えして今年は応用編を開催します。アングルや編集の仕方などを学び、実践してみましょう。

日時：9月17日（木）10：00～12：00

講師：梶原有起氏（有限会社サニーサイド代表取締役）

定員：20名 参加費：無料

## ▶スマホで！動画の撮り方講座～入門編～ 募集開始前

SNSでの広報活動において、最近では動画を使う機会も多いのではないのでしょうか。動画の仕組み、撮り方、スマホでできる簡単な編集などを学び、実践してみましょう。

日時：10月15日（木）10：00～12：00

講師：梶原有起氏（有限会社サニーサイド代表取締役）

定員：20名 参加費：無料

※講座内容は変更になる場合があります

## NPO法人の労務チェック

## 対応はお済みですか？

昨年(令和7年)4月1日から「育児・介護休業法」の段階的施行が実施されています。男女とも仕事と育児・介護を両立できるように、育児期の柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や介護離職防止のための雇用環境整備、個別周知・意向確認の義務などの改正が行われています。就業規則等の見直しも必要になるケースもありますので誤りなく対応していきましょう。

営利を目的としないNPO法人も労働社会関係諸法令の適用条件は変わりません。人員構成が複雑なNPO法人は、より注意して対応していく必要があります。

【例】介護に直面する前の早い段階(40歳等)での情報提供が必要です。 <義務>

労働者(職員)が介護に直面する早い段階で、介護休業や介護両立支援制度等への理解と関心を深めるため、事業主は、介護休業制度等に関する以下の事項について情報提供しなければなりません。

情報提供期間	①労働者(職員)が40歳に達する日(誕生日前日)の属する年度(1年間) ②労働者(職員)が40歳に達する日の翌日(誕生日)から1年間 のいずれか
情報提供事項	①介護休業に関する制度、介護両立支援制度等(制度の内容) ②介護休業・介護両立支援制度等の申出先(例:事務局など) ③介護休業給付金に関すること
情報提供の方法	①面談(オンライン含) ②書面交付 ③FAX/電子メール等 にて周知

詳細は、厚生労働省 都道府県労働局雇用環境・均等部(室)のHPでご確認ください。

# 福島市との共創を探る

～市民活動活性化支援事業～

## 「自然農田んぼプロジェクト」編

「おはよう田んぼ倶楽部」は、健康の基本は食にあるという考えのもと、化学肥料や農薬を使わず、自然農法による米づくりに取組み、食の安全と健康を大切に考える人たちが集まり活動している団体です。自分たちが安心して食べられるものを、自分たちの手で作りたいという思いが原動力です。

震災後に耕作されなくなった田んぼを活用する形で始まり、自然栽培に詳しい協力者の力を借りながら米づくりを実施しています。収穫したお米は販売せず、参加メンバーで分け合う仕組みです。今回の事業では、自然農法についての理解と食の安全について関心を広げる目的で、看板を設置しました。その効果もあり、参加希望者や田んぼを貸したいという声が増え、現在は規模を拡大し、参加メンバーも増えています。食への関心が高い女性の参加が多いのが特徴です。また、子ども園の園児たちを招いて、田んぼで泥んこ遊びを行ったり、さつまいもの植付けや収穫体験を実施したりと、子どもたちが土に触れ自然と親しめる場づくりにも取り組んでいます。

自然農法は手間がかかり、草取りなどの作業負担や人手不足といった課題があります。更に、収穫時期が一般より遅いため、雀による被害を受けやすいという難しさもあります。それでも手をかけた分だけ収穫につながる喜びは大きく、食べ物のありがたさを実感できる機会でもあり、農作業で体を動かすことが健康のためにもなり、日常生活では得られない充実感があります。食と農を通じて人の輪を広げる取組みは、今後も地域の中で着実に広がっていくことが期待されます。



<お問い合わせ>

おはよう田んぼ倶楽部

TEL : 090-7560-8867 (八巻)

E-mail : yguu1222@gmail.com

※市民活動活性化支援事業とは…多様化する地域課題に対して公益的な活動を行う市民活動団体を福島市が支援する事業です

### 編集後記

- ◆ 雀が側溝グレーチング上で激しく鳴くのです・・・え？。ヒナ救出に奮闘！（まさお）
- ◆ 楽しいが多すぎる問題（M）
- ◆ 最近出番の多いFRやMC、からだのメンテ必需品になりつつあります～（s）

## 福島市市民活動サポートセンター ふくサポ通信 vol.122

発行日／2026年5月31日 編集／認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター  
発行／福島市市民活動サポートセンター 〒960-8041福島市大町4-15チェンバおおまち3階  
TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560 MAIL info@f-fukusapo.com URL <https://www.f-ssc.jp>

ふくサポ通信2026 vol.122